



福祉おやべ

こだま

第214号

2022年3月発行

社会福祉法人
小矢部市社会福祉協議会

〒932-0821
富山県小矢部市鷺島15番地
TEL (0766) 67-8611
FAX (0766) 67-4896
<https://www.oyabe.or.jp>



ふれあい体験教室

(障害者理解促進研修・啓発事業)

～パラスポーツを楽しもう!～

もくじ

ふれあい体験教室	1
小矢部市共同募金委員会からのお知らせ	2
地域歳末ありがとうメッセージ、音訳ボランティア養成講座、ボランティア連絡協議会だより	3
ボランティア活動保険のご案内	4
車いす貸出しのご案内、脳トレの時間です♪	5
地区社協紹介だより【東蟹谷地区社会福祉協議会】	6
福祉作文【高校生の部】、善意の窓	7
ご案内【手話奉仕員養成講習会（入門課程）、ふれあいいいききサロン登録団体説明会】、つぶやき	8

昨年12月27日(月)、小矢部市民体育館においてふれあい体験教室を開催しました。

富山県障がい者スポーツ指導員の野澤 拓哉さんを講師にお招きし、「パラスポーツを楽しもう!」をテーマに、小学5年生から高校3年生までの参加者が車いすバスケットボールを体験しました。

まずは、車いすの操作方法やルールなどを教えていただき、練習からスタート。なかなか思う所へ行けず、車いす操作とボールに翻弄されながらもゲームをするころにはかなりの腕前に。

夏に見たパラリンピックの車いすバスケットボール選手に近づけたかな?!





小矢部市共同募金委員会からのお知らせ



昨年10月1日から行ってまいりました『赤い羽根共同募金運動』に、多くの皆さまからの温かいご支援・ご協力をいただきありがとうございました。

皆さまからお寄せいただきました募金は、地区社会福祉協議会による地域歳末たすけあい運動や施設・団体等による子ども・高齢者・障がい者などを支援するさまざまな福祉活動、また、災害時の支援活動などに役立てられます。

募金種別	令和3年度募金実績(円)
戸別募金	4,038,644
街頭募金	30,245
学校募金	53,331
職域募金	371,981
個人募金	68,071
その他の募金	31,372
合計	4,593,644

募金総額
4,593,644円
 (昨年実績 4,625,042円)



ご協力ありがとうございました。

※募金実績には、富山県共同募金会への直接送金分(職域募金87,281円、その他21,537円)を含みます。



赤い羽根共同募金 助成申請事業募集のご案内

小矢部市共同募金委員会では、令和5年度中に実施される市内の福祉事業に対し、助成申請を募集しています。

共同募金の助成を希望される団体は、下記までお問い合わせください。

**誰もが安心して暮らすことができる
福祉のまちづくりのために・・・**

- ・安心して暮らすことができるまちづくりに貢献する事業
- ・社会的に深刻な課題(貧困・虐待・いじめなど)への取り組み
- ・制度の「はざま」や「すきま」にある課題への取り組み
- ・地域の福祉ニーズに対する先駆的な取り組み

など



申込締切
令和4年4月25日(月)

【問合せ】
 小矢部市共同募金委員会
 (小矢部市社会福祉協議会内)
 TEL 67-8611

地域歳末たすけあい運動より ～ ありがとうメッセージ ～



中部地区歳末たすけあい（住民研修とトークの集い）事業

地域の福祉の向上を目指し、住民研修とトークの集いを開催しました。

近年、高齢者がいろいろな詐欺に巻き込まれるケースがあります。そこで今回は、男女共同参画推進員連絡会の方々による寸劇「いろいろな詐欺にご用心」で優しく楽しく詐欺について教えていただきました。また、認知症がテーマの寸劇では、「いつか自分にも来る道か!？」と考えさせられました。

「コロナ禍で、人とふれあう機会が少ない中、久しぶりに皆さんとお会いできたことがうれしく、このような会合に積極的に参加し、楽しみたいと思います。」との声が多く聞かれました。

今回、共同募金からの助成金を利用し、このような研修会を開催できましたことを喜んでおります。ありがとうございました。



音訳ボランティア養成講座（録音・編集編）を開催しました

2月19日(土)から、3回コースで音訳ボランティア養成講座を開催しました。今回は、広報などを読んで録音したものをパソコンで編集し、デジタル録音図書を作成するための技術を学びました。普段パソコンを使い慣れている方も、そうでない方も初めての操作に四苦八苦。講師の方に、手順を確認しながら編集作業を進めていました。

現在、音訳ボランティアの皆さんが視覚障がいをお持ちの方などに、広報おやべや福祉おやべ「こだま」などを音訳し、カセットテープでお届けされています。近い将来、デジタル録音されたCDがお手元に届くのを楽しみにお待ちしております。



ボランティア連絡協議会だより

2月21日(月)、市総合保健福祉センターにおいて「小矢部市ボランティア連絡協議会研修会」を行いました。

今回は、講師に窪城 良雄氏をお招きし、絵手紙の作成を行いました。「絵なんて、学生の時以来やわぁ。」という声が聞かれる中、絵手紙のコツを教えてもらいながら、思い思いの作品を完成させました。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響で活動を制限される中、少しでも施設利用者の方々との交流を図れるよう皆さんが描かれた絵手紙は、市内の福祉施設にお届けし、利用者の皆さまに楽しんでいただきます。



ボランティア活動保険のご案内

◇ ご加入いただける方

社会福祉協議会が運営するボランティアセンターに登録されている個人ボランティア、ボランティアグループ・団体（保険加入の際、ボランティア登録・登録更新をお願いします）

◇ 対象となる活動

「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」のうち、次の①～③のいずれかに該当する活動

- ① グループの会則に則り企画、立案された活動
- ② 社会福祉協議会に届け出た活動
- ③ 社会福祉協議会に委嘱された活動



◇ 補償の対象

（１）ケガの補償

- ・ ボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガまたは死亡された場合
- ・ 活動場所と自宅の往復途上の事故（通常の往復経路であること）
- ・ 熱中症（日射病・熱射病）、食中毒の補償
- ・ ボランティア自身の特定感染症の補償



特定感染症重点プランが追加されました。

当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症について補償期間初日から補償されます。

（２）賠償責任の補償

- ・ ボランティア活動中の偶然な事故、または活動の結果に起因する偶然な事故により、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりしたことで、法律上の損害賠償責任を負われた場合（対人賠償・対物賠償）
- ・ ボランティア活動に伴って、第三者の財物を壊したり紛失・盗難などの事故により法律上の損害賠償責任を負われた場合（保管物賠償）
- ・ 自由の侵害、または人格権を侵害したことにより法律上の損害賠償責任を負われた場合（人格権侵害賠償）

◇ 保 険 料

基本プラン 350円／1人・天災・地震補償プラン 500円／1人・特定感染症重点プラン 550円／1人
※小矢部市在住の方は、市より120円の助成があります。

◇ 補 償 期 間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

※年度途中の加入の場合、加入申込日の翌日から令和5年3月31日まで



- ・ 基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ・ 基本プラン、天災・地震補償プランでは、補償開始日を含めて10日以内に感染した特定感染症は補償されません。

- ・ 自動車による事故は、ボランティア自身のケガのみが対象となります。

【問合せ・申込み】

小矢部市社会福祉協議会
小矢部市ボランティアセンター
TEL 67-8611

※詳細につきましては、
お問合せください。

車いすの貸出しについて

小矢部市社会福祉協議会では、無料で車いすの貸出しを行っています。

◎ 対象となる方

- ・市内にお住いの方で、病気やケガなどにより一時的に車いすが必要となった方
(原則、介護保険の認定を受けている方で、福祉用具レンタルに適用する方は該当しません。)
- ・社会福祉協議会の窓口で受取・返却が可能な方

◎ 利用条件

- ・病院への通院や旅行などの外出の際に利用する場合

◎ 貸出期間

- ・1週間程度(長期間の貸出しについては、ご相談ください。)

※台数に限りがありますので、ご希望に添えない場合もございます。

～まずは、お電話にてご相談ください。～



【問合せ・申込み】
小矢部市社会福祉協議会
TEL 67-8614

遊んで学んで脳いきいき!! 脳トレの時間です♪

皆さんの脳の活性化を目指し、「おやべ脳トレクラブ」の皆さんから問題です。



問題

次のイラストは、あることわざを表しています。
何ということわざでしょう。

①



答え

②



答え

③



答え

④



答え

ひらめき力Upで
脳を活性化しよう!



答えは7ページへ



地区社協紹介だより

東蟹谷地区社会福祉協議会を紹介します

東蟹谷地区社会福祉協議会では、恵まれた環境の中で子どもたちから高齢者まで「みんなで助け合い、支え合い、健康で安心して暮らせる地域」を目指して、自治振興会をはじめ、各種団体と協力しあいながら、安心して楽しく暮らせる地域になるように活動をしています。

主な活動内容

- ケアネット活動(見守り 除雪)
- 災害時要援護者支援台帳
- ふれあいいきいきサロン
- 三世代ふれあい交流会(クリスマス会)
- いきいき百歳プラスワン体操(公民館と共催)
- 赤い羽根共同募金事業
- 歳末助け合い事業(赤い羽根共同募金の助成を受けています)
- 世代間交流
- 広報活動(福祉だより発行)

ふれあいいきいきサロン



身体を動かして健康管理



事故や事件にあわない話を聞く

三世代交流会



折り紙でクリスマス飾り作成



食改さんからクッキーのプレゼント

歳末助け合い

赤い羽根共同募金の助成を受けてプレゼントを準備



一人暮らし高齢者にプレゼント

福祉作文を紹介します

小・中・高校生の最優秀作品を3回シリーズで掲載しています。

高校生の部

★最優秀★

ボランティアで得たこと

となみ野高等学校三年 桑原 ジゼレ

私は高校に入学してから多くのボランティアに参加しました。二、三年次になつてからは、コロナの拡大により参加はしていませんが、一年次で参加したボランティアで得たことは二つあります。

一つ目は、参加することで実感する楽しさです。ボランティアは、基本はやりたい人が集まるので初めて会う方もいます。その中でみんなと一緒に活動したりすることはとても楽しかったです。

また、自分たちで考えた「レクリエーション」を地域の方々に説明し一緒にやることもよかったです。

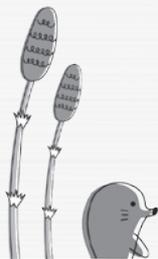
二つ目は、積極的になることが多くなったことです。高校に入学する前は何事にも控えていたが、ボランティアを通して授業の中で自分の意見を言うことが多くなりました。また、私はドラッグストアでバイトをしているのですが、最初の頃はあまり何も意識せず任されたことをやるだけでし

た。しかしボランティアを経験してからは前よりも周りを見るようになりました。重そうな荷物を持つている方を見ると、荷物を台の方まで運んだり、袋詰めが難しくそうな人を見ると袋に商品を詰めることが多くなりました。

また私は、日常にも変化があります。小さなことではありますが、ごみが落ちていと拾ったり、落とし物も前までは素通りしましたが今では届けています。また家族が買って袋詰めした荷物を持つことも多くなりました。

これらの事を通して私は、高校に入ってからボランティアに参加していなかったらと考えると大きく変化したと感じます。また同時にこの高校に入学してよかったと思います。

今はコロナの影響でボランティアに参加することは難しい時期ですが、コロナが収まったら参加できそうなボランティアに参加をしたいと感じました。



善意の窓

(順不同・敬称略)

(令和三年十二月十八日〜令和四年二月十七日受付分)

◇一般の福祉事業へ

《物品預託》

・ユニー(株)ピアゴ小矢部店

◇指定預託

《金員預託》

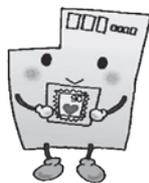
・林 正三

一〇、〇〇〇円



「小矢部善意銀行」では、お金や物品だけでなく、次のものもお預かりしています。

- ・古切手
- ・使用済プリペイドカード
(テレフォンカードなど)
- ・書き損じはがき
- ・バルマーク など



これらを善意銀行へお持ち下さい。

善意銀行から、ボランティア団体へ

ボランティア団体で分類・整理して販売され、その売上げが福祉へ役立てられます。

令和4年度 小矢部市手話奉仕員養成講習会(入門課程)を開催します!!

手話を言語として日常的に使い、ろう者とうろう者以外の者が共生できる社会を目指しましょう。

期 間 令和4年5月12日(木)～10月6日(木) 毎週木曜日(8月11日を除く)
午後7時30分～午後9時(講義3回、講習18回の計21回 途中参加も可)

※ 講義は必修とし、合計18回以上の出席者に修了証を交付します。

場 所 市総合保健福祉センター 3階 大会議室(小矢部市鷺島15)

対 象 ・はじめて手話にふれる方
・手話を学びたい方(初心者)
・手話の技術を向上させたい方

受講料 テキスト代 3,300円

※テキストをお持ちの方は、無料となります。

申込締切 令和4年4月28日(木)まで

詳細につきましては、お問合せください。



【申込み・問合せ】

小矢部市社会福祉協議会
小矢部市ボランティアセンター
小矢部市鷺島15
TEL 67-8611

ふれあいいきいきサロン登録団体合同説明会

令和4年度「ふれあいいきいきサロン」助成事業説明会を開催します。

日 時 令和4年3月29日(火)

10:00～ 正得、荒川、若林、子撫、宮島、北蟹谷、津沢、水島、藪波、東蟹谷地区の方

14:00～ 西部、中部、東部、北部、南部、南谷、埴生、松沢地区の方

※ 新型コロナウイルス感染防止対策のため、2回に分けて開催します。

会 場 市総合保健福祉センター 3階 大会議室

対 象 ・いきいきサロン実施団体の方
・新たにサロンの実施を検討されている方

内 容 「ふれあいいきいきサロン」助成事業について

- ・事業説明
- ・計画申請等手続き方法
- ・講師依頼方法 など

生きがいを持って地域で暮らせるよう、
介護予防に資する活動を行うグループを支援します。



【問合せ】

小矢部市社会福祉協議会
TEL 67-8611

住み慣れた地域で、元気に過ごそう!

つぶやき

北京オリンピック・パラリンピックでの日本選手団の活躍に、テレビに釘づけになった方も多いのではないのでしょうか。コロナ禍という特殊な状況の中で準備をし、最後まで諦めず、自分のベストパフォーマンスにチャレンジする姿は本当に心打たれました。

こんな時代だからこそ、チャレンジする気持ちを忘れないようにしたいですね。



次回の
福祉おやべ
「こだま」は、
5月12日(木)
発行です。
お楽しみに♪

